



戸田局長(左)から感謝状を受けた江花さん(中央)

自然保護活動の功績をたたえ

江花俊和さんに知事感謝状伝達

県自然保護指導員の江花俊和さん(葉山)への永年勤続知事感謝状伝達式は3月2日、町役場で行われました。県会津地方振興局の戸田光昭局長が江花さんに感謝状を手渡しました。江花さんは平成18年4月から長年にわたり県指導保護指導員として磐梯朝日国立公園磐梯山地域の自然保護に尽力してきました。江花さんは「今後も登山者の安全啓発と自然保護に努めたいです」と話しました。

選挙の仕組みを学ぶ

猪苗代養護学校で選挙について学習

猪苗代養護学校高等部は2月28日、「職業」の授業で選挙に関する学習会を開きました。

学習会では、町総務課の渡辺健一主査が講師を務め、生徒たちに選挙に参加する意義や選挙の仕組み、選挙権年齢が18歳に引き下げられた理由などを説明しました。生徒たちは、生徒会の役員選挙の様子などを振り返りながら、積極的に質問をしたり熱心にメモを取ったりしていました。



選挙について学習する授業風景



フォーラムで講演する則藤准教授

食を通じて地域を盛り上げる

第1回いなラボフォーラム

第1回いなラボフォーラム「食から“みる”猪苗代」は3月12日、道の駅猪苗代で開かれました。則藤孝志福島大学准教授が「食と農で猪苗代を盛り上げる大作戦」と題し講演。道の駅を拠点とした地域づくりを提案しました。パネルディスカッションでは、町食生活改善推進員の星久子会長、郷土料理講師の安部なかさん、はじまりの美術館の小林竜也さんが食を通じて、町の魅力を語り合いました。

自衛隊入隊予定者を激励

町自衛隊協力会激励会

町内の自衛隊入隊予定者の激励会は3月10日、町役場で開かれました。町自衛隊協力会会長の前後公町長が、平成29年度入隊予定の大塚翔流さん(半坂=喜多方桐桜高卒)に激励金を手渡しました。前後町長は「災害派遣など自衛隊の活動の場は広がっている。健康に留意して頑張ってください」と激励。大塚さんは「部活動の陸上競技で培った経験を生かし、地域を守るよう頑張ります」と抱負を述べました。



左から前後町長、大塚さん、宇月晴彦副会長



勇壮な舞を披露する西久保彼岸獅子

伝統の舞、堂々と

西久保彼岸獅子

春の訪れを告げる町指定重要無形民俗文化財「西久保彼岸獅子」は3月20日、西久保公民館で披露されました。太夫獅子、雄獅子、雌獅子の3体が笛と太鼓のお囃子に合わせて勇壮な舞を披露し、会場を訪れた観客を魅了しました。

西久保彼岸獅子は、住民の無病息災などを祈って奉納され、100年以上の歴史を持っています。現在は、西久保彼岸獅子保存会が春彼岸の中日に伝統の舞を披露しています。

15年ぶりに改定

新たな磐梯山火山ハザードマップを発表

磐梯山周辺市町村でつくる磐梯山火山防災連絡協議会は3月22日、町役場で開かれ、15年ぶりに改定した磐梯山火山ハザードマップを発表しました。国のガイドラインに沿った磐梯山噴火緊急減災対策砂防計画に基づき、過去1万年間の噴火を踏まえた最大の被害想定を盛り込みました。マグマ噴火と水蒸気噴火、小規模水蒸気噴火の三形態を想定した内容となっています。新しいハザードマップは、町ホームページから見るができます。



新たなハザードマップを発表する前後公町長(右から2人目)



保科正之公について講演する江花会長(右)

土津神社の歴史に触れる

「歴史講演あしながてなが」を開催

会津藩主松平家墓所保存整備事業完成記念「歴史講演あしながてなが」は3月18日、学びいなかで開かれました。町では、平成17年度より実施してきた会津藩主松平家墓所保存整備事業が完了したことから、講演会を開催。猪苗代の偉人を考える会の江花俊和会長が「保科正之公について」と題し、正之公の生い立ちや功績について紹介しました。また、町生涯学習課職員が土津神社に関する講演を行いました。

大震災犠牲者の冥福を祈り

東日本大震災物故者慰霊、復興祈願法要

東日本大震災物故者慰霊、復興祈願法要は3月11日、亀ヶ城跡の鐘楼堂で執り行われ、東日本大震災の犠牲者を弔うとともに震災からの復興と原発事故の収束を祈願しました。

法要には長照寺住職で町仏教会会長の楠俊道住職をはじめ、町内の各寺の住職や檀家代表ら約30人が参列しました。僧侶らによる読経の後、参列者は御詠歌を歌い、東日本大震災の犠牲者の冥福と震災からの復興を祈りながら鐘を打ち鳴らしました。



犠牲者の冥福を祈り鐘を突く参列者